



影山 摩子弥



1959年、静岡県に生まれる。  
早稲田大学商学部卒  
〈専攻〉経済システム論、経済原論  
〈現職〉横浜市立大学教授、横浜市立  
大学CSRセンター長、横浜市立大学  
生協理事長、キャリアアカウンセラ―

## その式

CSR度  
200%

こんにちは。まこやです。大分の小学校教員採用をめぐる汚職は、ショックでした。これじゃ、地道に努力してきた人たちがかわいそうですよ！子供たちにも、影響がないとは言えないでしょ！CSRは、地道に努力し、誠実にやるのが大事って、企業にも、人々にも教えてくれるんです。みんながCSRの精神を知って、地道に努力する者や誠実な者が報われる社会にならないと、住みやすい社会にはならないんです。



さて、今回は、前回の続きです。ソーシヤル・プリンティング・カンパニー（「社会的責任をきちんと果たす印刷会社」として大きな実績を挙げてる大川印刷です。

ここんちが、環境のためにいろんな取組をしていることは前回お話ししました。その取組みの一環として、カーシェアリングって、面白い試みをしてます。

カーシェアリングってのは、他の人や会社と車を共同使用するってことです。ここんちの場合、カーシェアリング用の車を貸し出してくれる会社から、複数の会社共同で営業車を借りて、毎日の使用時間を調整しあって使ってるんです。

写真が、その車です。軽自動車なんで、エコなんです。

借りる車がエコカーなら環境にや



さしいですし、個々の会社がそれぞれに営業車を買うより安く上がりまからコスト削減にもなります。環境にやさしく、企業のコストも圧縮する、とってもいいアイデアだと思いますか？

シェアリングしている会社も、その車を貸している会社も、みんなイケてますよね。

ちよつと難しい話になりませんが、ここには、CSRに關するとても重要な話が含まれています。

CSRは、相乗効果を生むんです。つまり、CSRに取組む企業と企業の間や、企業とステーク・ホルダーの間に、個々の取組み以上の効果が生まれ、みんなに大きなメリットをもたらすんです。

カーシェアリングって、1社じゃできないですよ。CSRを通じて協力することで、コスト削減ができるんです。個々にCSRに取組んでいるだけでは得られないような効果を得ることができるようになります。

前回、色覚障がい者にも見やすい広告のあり方を提案してるって話をしましたよね。広告主はいつそう効果的な広告にできる、提案した大川印刷は仕事に結びつく、色覚障がい者は分かりやすい広告に接することができる、障がいがある方の雇用が促進される、NPOの重要性が再認識される、などの効果が考えられます。大きなシナジー効果です。

この効果を社会が実感すれば、CSRの定着を促進するでしょう。では、今日はここまで。

読者アンケートにご協力を！  
メールをお待ちしています

Eメール  
mail@recycledesign.or.jp

HP

今月号いかがでしたか？ これまでの号も含め感想をお寄せください。Eメールのみでの受付となりますが、たくさんの感想をお待ちしています。

## 下記の質問にお答えください

- あなたは「フードマイレージ」を知っていますか？
- 「フードマイレージ」をご存知の場合、フードマイレージについてどんなことを実行していますか？
- 今月号の感想

メールの件名を『リサイクルデザイン読者アンケート』とし、アンケートの質問番号の後に回答をお書きください。お名前(フリガナ)・郵便番号・ご住所・年齢・性別・職業をお忘れなく。(HPからの方が簡単です) 抽選で10名様にりくみちゃんシャープペンとノートのセットをプレゼントいたします。